

事業概要【マイナンバーカード村民カード化構想】

※公表資料として作成すること。資料 7 1/2

実施地域	新潟県弥彦村	事業費	24,972千円（300,000千円以内）※国費10/10
実施主体	新潟県弥彦村、株式会社BSNアイネット、株式会社プレス	人口	7,800人
事業概要	本事業ではマイナンバーカードを利用した複数のサービスを展開し、"巡回バス乗車管理システム"で村内を移動し、本の貸出や選挙受付等の行政サービスを一貫してマイナンバーカードを利用した取組が行えるよう展開指していき、カードに対しての住民への理解深め、"デジタル社会のパスポート"として根付いていくように進めていく。		

取組内容

【はじめに】

・弥彦村では、行政手続きのオンライン化や書かない窓口などデジタル技術を活用した取り組みを進めているが、村民が身近に感じられるサービスとしての取組はこれからの状態であり、現状マイナンバーカードを利用した行政サービスは証明書のコンビニ交付サービスのみである。

【マイナンバーカードを利用して展開するサービス】

①図書館カードシステム

・本の貸出を図書館カードではなくマイナンバーカードを利用して貸出を行えるようにする。

②巡回バス乗車管理システム

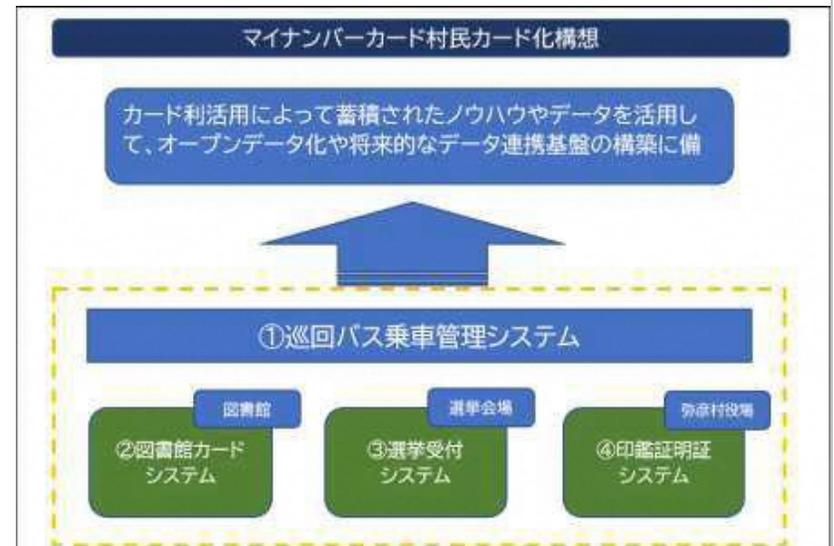
・巡回バスの乗車及び降車時にマイナンバーカードをピッとタッチするだけで、本人確認を行い、弥彦村民であれば乗車賃100円が無料となる。

③選挙受付システム

・選挙券を提示せずともマイナンバーカードによる本人認証で選挙受付を可能とする。

④印鑑証明証システム

・役場では印鑑証明証が無いと印鑑証明書が発行できないが、それをマイナンバーカードでも発行可能にする。



■ サービス内容

サービス名	巡回バス乗車管理システム	事業費	16,351千円
ターゲット	弥彦村民		
展開エリア	弥彦村		

サービス内容（事業分野）

②住民サービス

- ・マイナンバーカードのカードAPに巡回バスの利用者情報を登録して、乗車・降車の管理を可能とする。
- ・フリー乗車区間というその区間であればいつでも乗り降りできる区間があり、今まではどの地域が多く乗り降りしているか体感でしかわからなかったが、位置情報も集計するため、今までよりより詳細なデータを収集できるためより有効的な交通政策を提供することが可能となる。
- ・サービス利用者には定期的にGoogleアンケート等による満足度調査を行い、利用者数の拡大を目指す。
- ・「ピッ」とワンタッチで乗車及び降車することが可能となり、バスが停留所で停まる時間を短縮することが可能となる。

